

臨床医学系

内科学講座

膠原病・リウマチ内科

著書

- 1 長澤浩平：全身性エリトマトーデス，鑑別診断．最新医学別冊 新しい診断と治療のABC 112-119，最新医学社．大阪 2010．
- 2 長澤浩平：高齢発症の関節リウマチ．今日の整形外科治療指針 164-165，医学書院．東京 2010．
- 3 長澤浩平：悪性関節リウマチ．今日の整形外科治療指針 165，医学書院．東京 2010．
- 4 長澤浩平：免疫異常からみる膠原病．Year note2011 別冊 Selected Articles 127-138，メディックメディア．東京 2010．
- 5 長澤浩平：成人スティル病．リウマチ・膠原病内科クリニカルスタンダード 172-178，文光堂．東京 2010．
- 6 長澤浩平：臨床的予防法の開発 薬物による予防は可能か - 抗凝固薬 - ．特発性大腿骨頭壊死症 254-259，金芳堂．京都 2010．
- 7 長澤浩平：成人発症スティル病．リウマチ病学テキスト 137-141，診断と治療社．東京 2010．

原著論文

- 1 Misago N, Inoue H, Inoue T, Nagasawa K, Narisawa Y: Palisaded neutrophilic granulomatous dermatitis in systemic lupus erythematosus with a butterfly rash-like lesion. *Eur J Dermatology* 20: 128-129, 2010.
- 2 Koarada S, Tada Y, Sohma Y, Haruta Y, Suematsu R, Mitamura M, Inoue H, Ehara H, Tokoro Y, Ohta A, Nagasawa K: Autoantibody-producing RP105-negative B cells from patients with systemic lupus erythematosus, showed more preferential expression of BCMA compared with BAFF-R than normal subjects. *Rheumatology* 49: 662-670, 2010.
- 3 河田康祐，多田芳史，末松梨絵，小西 舞，芥川加代，井上久子，小荒田秀一，長澤浩平，大田明英，岩永 希：エタネルセプトで治療中の関節リウマチ患者に発症した顕微鏡的多発血管炎の一例．九州リウマチ 30(1): 49-53, 2010．
- 4 戸田知子，末松梨絵，井上久子，小荒田秀一，多田芳史，青木洋介，長澤浩平：サルコイドーシスとの関連が示唆された *Mycobacterium nonchromogenicum* 皮膚感染症の1例．感染症学雑誌 84: 300-304, 2010．
- 5 多田芳史，小荒田秀一，井上久子，末松梨絵，長澤浩平，大田明英：膠原病患者のレイノー症状と血小板由来マイクロパーティクルに対する 5-HT_{2A} 受容体拮抗剤塩酸サルポグレラートの効果．九州リウマチ 30: 88-93, 2010．

総説

- 1 長澤浩平：全身性エリトマトーデス 第3章 診断 鑑別診断．最新医学社 最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC 67, 2010．
- 2 小荒田秀一，長澤浩平：RANKL 阻害によるステロイド骨粗鬆症の予防．リウマチ科 44: 89-93, 2010．

- 3 長澤浩平：ステロイド性大腿骨頭壊死症の予防 - スタチン，抗凝固療法の意義．リウマチ科 44：423-429，2010．
- 4 長澤浩平：関節炎の鑑別：診断と治療の進歩 成人発症 Still 病．日本内科学会雑誌 99：2460-2466，2010．
- 5 多田芳史：全身性エリテマトーデスとインターフェロン IFN α ，IRF 5，Toll-like レセプターに関する最近の知見．九州リウマチ 30：55-59，2010．
- 6 多田芳史：関節リウマチの診断と薬物療法．佐賀県臨床整形外科医会会報 25：34-37，2010．

学会発表

国際規模の学会

- 1 Tada Y, Kondo S, Aoki S, Koarada S, Inoue H, Suematsu R, Ohta A, Nagasawa K: Interferon Regulatory Factor-5 (IRF-5) is Critical for the Development of Lupus in MRL/lpr Mice. American College of Rheumatology Annual Scientific Meeting. 2010, 11, 6-11. Arthritis & Rheumatism 2010; 62 (Suppl): S182.

国内全国規模の学会

- 1 福岡麻美，曲淵裕樹，水田正喜，草場耕二，永沢善三，青木洋介，長澤浩平：当院における最近10年間の β 溶血性連鎖球菌による菌血症の解析．第84回日本感染症学会総会．2010，4，5～6．感染症学雑誌 84：402．
- 2 長澤浩平：成人スティル病の病態と治療－エビデンスはあるか？（ランチョンセミナー）．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウム．2010，4，22～25．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集：P407．
- 3 *堀内孝彦，塚本 浩，新納宏昭，井上 靖，吉澤誠司，西坂浩明，吉澤 滋，大塚 毅，長澤浩平，中島 衡，赤司浩一：ループス腎炎に対するタクロリムスの有効性と安全性．－投与2年経過した29例の解析－．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウム．2010，4，22～25．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集：P444．
- 4 小荒田秀一，多田芳史，副島幸子，末松梨絵，井上久子，大田明英，長澤浩平：SLE患者由来の自己抗体産生 RP105陰性 B 細胞は BCMA を高発現する．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウム．2010，4，22～25．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集：P451．
- 5 多田芳史，藤健太郎，末松栄一，上田 章，永野修司，澤部琢哉，西坂浩明，塚本 浩，堀内孝彦，長澤浩平：最近の間質性肺炎を合併した多発性筋炎・皮膚筋炎の予後と治療抵抗性に関する解析．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウム．2010，4，22～25．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集：P462．
- 6 井上久子，多田芳史，藤健太郎，末松栄一，上田 章，澤部琢哉，永野修司，定永敦司，吉澤誠司，堀内孝彦，長澤浩平：多発性筋炎・皮膚筋炎における間質性肺炎に関する多施設共同研究．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウム．2010，4，22～25．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集：P462．
- 7 副島幸子，末松梨絵，井上久子，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：膠原病診療におけるプロカルシトニン測定の臨床的有効性．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リ

- ウマチシンポジウム．2010，4，22～25．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集：P502．
- 8 末松梨絵，大田明英，松浦江美，高橋裕樹，藤井隆夫，堀内孝彦，蓑田清次，石ヶ坪良明，大田俊行，武井修治，長澤浩平：成人 Still 病の臨床像と治療の現状：多施設調査の結果より．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウム．2010，4，22～25．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集：P504．
 - 9 多田芳史，近藤誠司，小荒田秀一，井上久子，末松梨絵，副島幸子，大田明英，長澤浩平：IRF 5 はループスマウスの病態発現に重要な役割をはたす．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウム．2010，4，22～25．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集：P565．
 - 10 大田明英，末松梨絵，松浦江美，高橋裕樹，藤井隆夫，堀内孝彦，蓑田清次，石ヶ坪良明，大田俊行，武井修治，井上久子，小荒田秀一，多田芳史，長澤浩平：成人 Still 病の経過と予後：多施設調査の結果より．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウム．2010，4，22～25．第54回日本リウマチ学会総会・学術集会，第19回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集：P681．
 - 11 加藤 剛，高橋浩一郎，安部友範，柿野千穂，小林直美，小宮一利，荒金尚子，長澤浩平，木村晋也，林真一郎：関節リウマチ関連肺疾患の臨床的解析．第50回日本呼吸器学会 学術講演会．2010，4，23～25．日本呼吸器学会 雑誌 48：増刊 P285．
 - 12 大川 毅，三砂範幸，成澤 寛，小荒田秀一，長澤浩平：リマチルによる黄色爪症候群の一例．第26回日本臨床皮膚科医会 総会・臨床学術大会．2010，5，30．日本臨床皮膚科 医会雑誌 27(2)：P265．
 - 13 小西 舞，小荒田秀一，田代知子，末松梨絵，井上久子，多田芳史，大田明英，長澤浩平：顕微鏡的多発血管炎と側頭動脈炎をオーバーラップした稀な一例．第14回血管病理研究会．2010，10，10．脈管学 50巻：2号，P215．
 - 14 増田正憲，甲斐敬太，長澤浩平，徳永 蔵：結節性多発動脈炎における腎血管病変の治療による変化．第14回血管病理研究会．2010，10，10．脈管学 50巻：2号，P217．

地方規模の学会

- 1 多田芳史，藤 健太郎，末松栄一，上田 章，永野修司，澤部琢哉，西坂浩明，塚本 浩，堀内孝彦，長澤浩平：最近の間質性肺炎を合併した多発性筋炎・皮膚筋炎の治療に関する多施設共同研究．第39回九州リウマチ学会．2010，3，6～7．第39回九州リウマチ学会プログラム抄録集：P40．
- 2 副島幸子，小荒田秀一，末松梨絵，井上久子，大田明英，長澤浩平：エタネルセプトが奏功した治性結節性多発動脈炎の1例．第39回九州リウマチ学会．2010，3，6～7．第39回九州リウマチ学会プログラム抄録集：P55．
- 3 副島幸子，田代知子，末松梨絵，井上久子，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：甲状腺炎と甲状腺機能低下症により急速に筋脱力が出現した多発性筋炎の1例．第40回九州リウマチ学会．2010，9，4～5．第40回九州リウマチ学会プログラム抄録集：P62．
- 4 北村浩晃，末松梨絵，田代知子，副島幸子，井上久子，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：メトトレキセート（MTX）関連悪性リンパ腫の一例．第40回九州リウマチ学会．2010，9，4～5．第40回九州リウマチ学会プログラム抄録集：P70．

- 5 岡田倫明，福岡麻美，佐野直人，曲淵裕樹，永田正喜，宮本比呂志，青木洋介，長澤浩平：Corynebacterium jeikeium による感染性心内膜炎の1例．第79回日本感染症学会 西日本地方会学術集会．2010，11，19～20．感染症学雑誌 84：247．
- 6 桑代麻希，福岡麻美，曲淵裕樹，永田正喜，青木洋介，長澤浩平：熱射病に合併した劇症型G群連鎖球菌感染症の1例．第79回日本感染症学会 西日本地方会学術集会．2010，11，19～20．感染症学雑誌 84：243 244．

その他の学会

- 1 多田芳史，大田明英，小荒田秀一，井上久子，末松梨絵，長澤浩平：膠原病におけるレイノー症状と血小板由来マイクロパーティクルに対する塩酸サルボグレラートの効果．厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発研究班2009年度班会議・第13回強皮症研究会議（SSc, Scleroderma Study Conference）合同会議プログラム．2010，1，16．厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発研究班2009年度班会議・第13回強皮症研究会議（SSc, Scleroderma Study Conference）合同会議プログラム：P15～16．
- 2 多田芳史，近藤誠司，小荒田秀一，長澤浩平：IRF5はループスマウスの病態発現に重要な役割をたす．第30回福岡臨床免疫研究会．2010，1，23．
- 3 小荒田秀一：膠原病・リウマチ内科における生物学的製剤の使用経験．乾癬治療学術講演会．2010，2，25．
- 4 多田芳史：リウマチの治療はここまで進歩した．関節リウマチ市民公開講座．2010，2，28．
- 5 多田芳史：ベーチェット病における骨髄異形成症候群の合併とその特徴．第4回九州ベーチェット病フォーラム．2010，6，26．
- 6 多田芳史：多発性筋炎・皮膚筋炎に合併した間質性肺炎に関する多施設共同研究 - まとめ - ．第4回福岡膠原病研究会．2010，2，6．
- 7 *鷲尾昌一，清原千香子，堀内孝彦，塚本浩，原田実根，赤司浩一，浅見豊子，佛淵孝夫，多田芳史，長澤浩平，他：混合性結合組織病の症例対照研究．厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班 平成22年度総会．2010，12，3 4．厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班 平成22年度 第2回総会抄録集．

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	長澤 浩平	厚生労働省科学研究費	難治性疾患克服研究事業大腿骨頭壊死症調査研究班 (研究分担者)	特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学術的研究	1,500
教授	長澤 浩平	共同研究		自己免疫疾患患者由来 RP105陰性細胞 B 細胞の膜上に特異的に発現する分子の同定と当該細胞の自己免疫疾患における役割に関する研究	1,000
講師	多田 芳史	科学研究費補助金	基盤研究(C)	ループス腎炎の病態発現におけるインターフェロン制御因子 5 の作用の解析	1,560
助教	小荒田秀一	科学研究費補助金	基盤研究(C)	自己抗体産生細胞を標的とした全身性エリトマトーデスの新規治療法の開発	2,400
助教	小荒田秀一	平成22年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業 【臨床】	ヒト自己免疫疾患における自己抗体産生 B 細胞と後期 B 細胞分化過程の異常に関する研究	500